

著者紹介

滝沢 昌彦 (たきざわ まさひこ) 序, 第1章, 第4章 執筆

略歴 1959年生まれ。一橋大学法学部卒業。現在、一橋大学大学院法学研究科教授。

主要業績 『契約成立プロセスの研究』(有斐閣, 2003年)
 ユルゲン・バセドウ編『ヨーロッパ統一契約法への道』(法律文化社, 2004年, 共訳)
 『はじめての契約法〔第2版〕』(有斐閣, 2006年, 共著)

武川 幸嗣 (むかわ こうじ) 第2章, 第3章 執筆

略歴 1966年生まれ。1994年慶應義塾大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。現在、慶應義塾大学法学部教授。

主要業績 『新訂 民法』(放送大学教育振興会, 2017年, 共著)
 『民法Ⅱ 物権〔第2版〕(LEGAL QUEST)』(有斐閣, 2017年, 共著)
 「解除の対第三者効力論(一)(二・完)」法学研究第78巻12号, 79巻1号(2005年～2006年)

花本 広志 (はなもと ひろし) 第5章 執筆

略歴 1961年生まれ。1990年一橋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。現在、獨協大学外国語学部教授。

主要業績 「人格権の財産的側面—パブリシティ価値の保護に関する総論的考察」獨協法学45号(1997年)
 「ドイツ法における利益引渡責任」『現代契約法の展開』好美清光先生古稀記念論文集(経済法令研究会, 2000年)
 「無体財産権侵害における実施料相当額の損害賠償と不当利得—ロルフ・ザック『無体財産権法の体系におけるライセンス・アナロジー』の紹介を中心として」獨協法学54号(2001年)

執行 秀幸 (しぎょう ひでゆき) 第6章 執筆

略歴 1948年生まれ。早稲田大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。現在、中央大学大学院法務研究科教授。

主要業績 『ケースブック要件事実・事実認定〔第2版〕』(有斐閣, 2005年, 共著)
 『要件事実論と民法学との対話』(商事法務, 2005年, 共著)
 『基本法コンメンタール／債権各論Ⅱ〔第4版新条文対照補訂版〕』(日本評論社, 2005年, 共著)
 『新・民法学4 債権各論』(成文堂, 2006年, 共著)

岡林

伸幸 (おかばやし のぶゆき)

第7章 執筆

略歴

1963年生まれ。同志社大学大学院法学研究科博士後期課程中退，現在，千葉大学大学院社会科学研究院教授。

主要業績

「損害拡大防止義務」『民法学の現在と近未来』（法律文化社，2012年）

「学納金不返還特約と公序良俗」『法律行為論の諸相と展開』高森八四郎先生古稀記念論文集（法律文化社，2013年）

「死因贈与の撤回」千葉大学法学論集30巻1・2号（2015年）